

指定管理者の候補者選定結果

1 申請団体 特定非営利活動法人 葉山の里たしろ（1 団体）

2 選定方法

選定基準に基づき、寒河江市公の施設に係る指定管理者審査選定委員会の審査を経たうえで、指定管理者の候補者を選定した。

3 選定結果

選考基準	項目	基準点	選定団体
(1) 市民の平等な利用が確保されること	1 施設運営に関する方針	3	3
	2 利用目的に沿った施設の有効活用方策	6	8
	3 自主事業による施設の有効活用方策	2	8
	4 個人情報の保護対策	3	3
	5 利用者への施設に関する情報の提供	3	4
(2) 施設の管理を安定して行う能力を有しているものであること	6 財務の健全性	5	5
	7 適正な人員配置	3	3
	8 人材育成及び研修の実施	3	3
	9 類似施設等の管理実績（管理実績や受託実績が不良の場合減点）	2	1 0
	10 緊急時の対策	3	3
	11 苦情対応及びトラブルの未然防止対策	3	3
	12 環境配慮の推進	3	3
(3) 施設の適切な維持管理に係る経費の縮減が図られるものであること	13 提案金額	2	2
	14 提案金額の実効性	1 0	1 0
	15 歳入確保の方策	1	3
合 計		5 2	7 1

【評価の理由】

- ・「2 利用目的に沿った施設の有効活用方策」については、個人やグループなどの各利用者のニーズに対応した宿泊や、体育館やグラウンドを活用したスポーツ少年団の合宿の受入を行うほか、自主事業として多目的活動室などを活用したワークショップや、食堂での地域食材をふんだんに使ったたしろ亭などが行われる。また、地区の拠点施設として地域住民同士の交流や、大学をはじめとした都市や若者との交流事業が行われ、地元NPOの運営によって有効活用が期待できることから「8」の評価とした。
- ・「3 自主事業による施設の有効活用方策」については、たしろ亭での飲食事業（お膳料理や軽食など）、蓮まつりや収穫感謝祭などのイベント開催、山菜取りやきのこ植菌体験などの里山・自然体験プログラムの実施、加工所での地元農産物を使った漬物等の製造・販売など、地域資源を活用した多種多様な事業実施により施設の有効活用が期待できることから「8」の評価とした。
- ・「5 利用者への施設に関する情報の提供」については、独自のHPやSNS、動画配信などインターネットによる情報提供のほか、施設パンフレットの作成などにより情報提供を行っており、利用者への十分な周知が見込まれることから「4」の評価とした。
- ・「9 類似施設等の管理実績」については、これまで同施設の指定管理者として管理業務を行ってきた実績があることから「10」の評価とした。
- ・「13 提案金額」については、市が積算した管理経費と比較し、2%未満の削減率であることから、基準点の「2」の評価とした。
- ・「15 歳入確保の方策」については、たしろ亭や里山・自然体験プログラム、加工品販売など、多様な自主事業の実施により歳入確保の方策がとられていることから「3」の評価とした。